

脳深部刺激療法(DBS)のご案内

平素より大変お世話になっております。

この度は当院で行っている外科治療についてご案内差し上げたく存じます。

当院パーキンソン病センターが開設し1年が経ちました。

先生方におきましては多数の患者様をご紹介いただき誠に感謝しております。

当院を受診される患者様も日々増えており、パーキンソン病センター一同、神戸市におけるパーキンソン病患者様のニーズに答えるべく日々尽力しております。

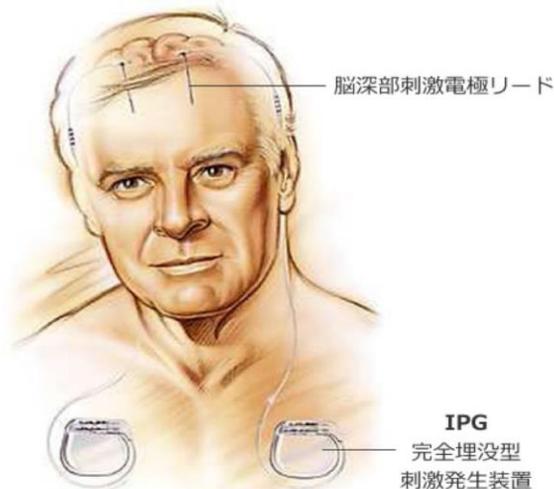
当院では神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科が相互に患者様治療に当たっておりますが、今回は外科治療についてご案内したくお手紙差し上げました。

当院で行っている外科治療は主には脳深部刺激療法 (DBS) です。

術前は神経内科、リハビリテーション科により薬物療法やリハビリ的評価を行い、その後脳神経外科も加えたディスカッションにて手術決定を行っております。

DBSの適応疾患は パーキンソン病

ジストニア、本態性振戦です



パーキンソン病では以下の条件を満たす方が
DBSの適応となります。

- パーキンソン病であること
- 75歳以下
- 薬物調整が困難な薬効時間の短縮（ウェアリングオフ現象）や不随意運動（ジスキネジア）があり、症状の日内変動が激しい
- パーキンソン病薬に反応がある
- 重度の脳血管障害など脳に病気がない
- 重度の精神症状や認知機能低下がない

貴院にて上記条件を満たすパーキンソン病コントロールに苦慮されている患者様がおられましたら、手術治療が症状改善に役立つ可能性があります。

また、お困りの患者様などおられましたらいつでもお手伝いさせていただく所存です。気兼ねなくご紹介ご相談いただければ幸いです。

お忙しいところ大変恐縮です。よろしく願いいたします。

吉田病院パーキンソン病治療センター 外科治療部一同

